

令和4年(2022年)6月28日(火曜日)

補佐官当時県の肩書で市民集会参加

東郷氏行動に県「不適切」

3月末に県対外関係補佐官を退任した東郷和彦氏が、補佐官時代に三島駅南

口の再開発事業に反対する市民グループの集会に補佐官の肩書で参加していたこ

とが27日、県議会総務委員会の藤曲敬宏委員(熱海市)の指摘で明らかになった。県は「不適切だった」と誤解を招く行動だったことを認めた。

藤曲委員によると、東郷氏は2016年から団体主催の講演会に講師や助言者として4年連続で参加し、再開発に反対の立場を明確にしていたという。団体作成の資料には補佐官の肩書や「知事の外交戦略や県政運営のアドバイザー」との記載があった。

県の担当者は「個人としての参加と認識している」としつつも、「事前に参加を把握していなかったが、(肩書掲載など)客観的にみれば不適切だったと言わざるを得ない」とした。

県は再開発事業に補助金を出す立場。5月31日には再開発組合の設立を認可した。東郷氏を巡っては県は再任するための補正予算案を6月定例会に提出する予定だったが、議会の反対が

あったことから東郷氏が辞退し、予算案を取り下げた。